

てん刻

てん刻印とは、主に書道や絵画などの書画作品に落款（らっかん）として押される印のことをいいます。文字や枠を自由にデザインして自分だけの「てん刻印」を作ってみましょう。



活動のねらい・期待される効果

1. 身近において活用できるものとして作品づくりができる。
2. 根気強くひとつのものに向かい、自分の手で作品を生み出す機会により満足感を味わうことができる。

活動可能人数	100	活動・季節条件	通年
所要時間	2～3時間	主な対象	小学生以上
実施場所	学習室		
説明	直接	自然の家の職員が活動前に説明を行います。	

活動の概略

- ① 薄い紙（トレーシングペーパー）に石のふちの線を写しとる。
- ② 写した線内に書きたい字や絵をそのまま書く。＊線を太くする
- ③ 石にカーボン紙の黒面をあて、その上にうら返した紙をのせて固定しエンピツでなぞる。
- ④ てん刻用ニードルで彫る。
- ⑤ 彫り、試し押しを繰り返して完成させる。
- ⑥ 時間があれば、握る部分を加工する。（模様をつけたり、丸みをつけてにぎりやすくしたりする）
- ⑦ 終了後、活動場所の清掃・ゴミの処理・貸し出し用具の返却

準備物

自然の家が貸し出しできる用具・材料

- ・ニードル、金やすり、朱肉、押印マット、鉛筆

利用者または団体で準備する用具・材料

- ・鉛筆・新聞紙（1人1枚）・救急絆創膏

売店で購入するもの・できるもの

- ・てん刻セット（石 30mm×30mm×35mm、トレーシングペーパー、カーボン紙、サンドペーパー）

安全管理ポイント

- ニードルの先端がとがっているので、創傷や刺傷などに気を付ける。
- 彫った石の粉が飛び散らないように気を付ける。（息を吹きかけたりしない）
- 用具等は大切に使い、確実に返却をお願いします。